

臨床研究「急性期病院における入院患者の転倒要因や転倒時期についての検討」について

1. 研究の対象

2019年から2023年に当院に入院され入院中に転倒された患者さん

2. 研究目的・方法

一般的に入院療養中は、入院の原因になった病気や怪我に伴う身体機能の変化や生活リズムの変化、更にその変化によって一時的に意識や認知機能が低下する「せん妄」といわれる症状などが誘発され、転倒転落が発生しやすい状況となります。当院においても高齢の入院患者さんが多く、入院中の転倒転落発生件数も年々増加しているため、適切な転倒予防策を立案する必要があります。この研究では電子カルテ内の転倒転落に関する情報を収集解析し、転倒要因や転倒時期の傾向について調査することで適切な転倒予防策立案に役立てることを目的としています。

研究期間は、病院長許可日から2026年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

入院から転倒するまでの期間、行動要因、年齢、性別、発生場所、発生時間、転倒レベル等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：静岡県磐田市大久保 512-3 Tel：0538-38-5000

研究責任者：磐田市立総合病院 リハビリテーション技術科 鈴木亮馬